

消棒RESCUE シートベルト切断デモに関する手順書

消棒RESCUEはD5716(日本産業規格)におけるシートベルト切断試験にて連続30回、1回の切断時間は2秒未満で切断できることが証明されております。

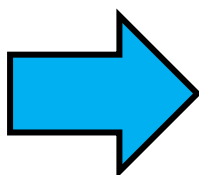
目的

衝突事故、冠水事故などでプリテンショナー機能が作動しシートベルトを外すのが困難になった場合、シートベルトを切断し脱出する必要がある。

【プリテンショナー機能】



平時



衝突時エアバックと一緒に作動

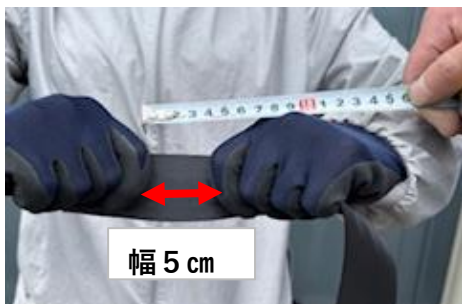
※事故時、車外に飛び出さないようシートベルトがピンと張り、身体に食い込み締めあげる。

方法① シートベルトを垂直に切断する場合

※お客様に体験して頂くには最適な方法

①シートベルトを5センチ程の幅をあけて左右に強く引っ張る。

プリテンショナー機能などでシートベルトが張った状態を再現する。



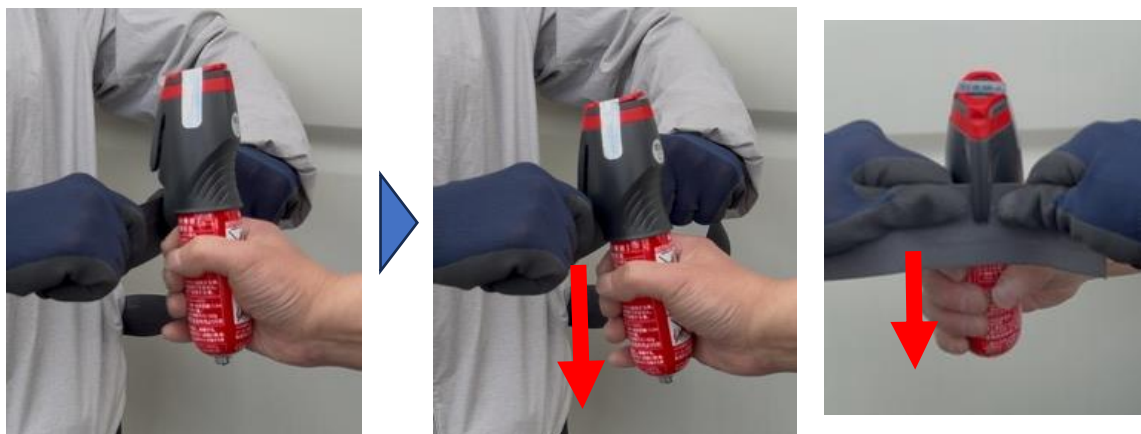
【正面】



【背面】

※ゴム手袋を着用すると滑りにくく左右に引っ張ることが容易になる。

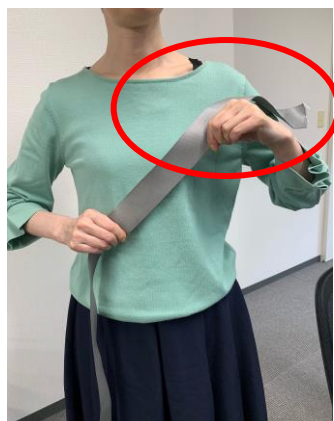
②消棒RESCUEの刃をシートベルトに差し込み垂直方向におろす



方法② 斜めにシートベルトを切断する場合

※2名で行ってください。 人物（A：切断する人 B：補助する人）

①Aが左側の席に座っている場面を想定し、左手でシートベルトの上部をもつ



② Bにシートベルトの下の部分をもってもらう。

AとBが互いに引っ張り合いプリテンショナー機能が作動した状態を再現する。

※シートベルトはピンと張った状態でないと切断できません。



A

B

※AとBの手の距離が短い方が
シートベルトをピンと張った
状態を再現することができる。

③Aが消棒RESCUEのカッター部にシートベルトを上から差し込む。



消棒RESCUE本体を斜めにして
シートベルトを差し込むと
切断しやすくなる。



シートベルトにカッター部が差し込まれた状態

④思い切り斜め下に引くようにシートベルトを切断する。

